コープぎふ 15周年記念 座談会

本年もよろしくお願いします

巻頭特集

あけましておめでとうございます。

昨年、コープぎふは15周年の節目を迎えました。
15周年記念フェスタの開催などを通して、改めて協同組合のよさ、
地域とのかかわりの大切さを実感した年となりました。
今年も組合員さんお一人おひとりの声を大切に、
様々な事業や活動に取り組んでまいります。
新年特集の今回は、組合員理事として活躍いただいている
上林美也子副理事長、林智子理事、山村まさこ理事
に生協の魅力を語っていただきました。

生協に携わるきっかけは？

義母が宅配を利用していたのを引き継ぎ、始めました。こんなにどっぷり関わるようになるとは（笑）。今は飛騨支所ステーションを利用しています。生協の組合活動に関わるようになって勉強できたことがたくさんあります。

上林 美也子　副理事長

引っ越し先で、近所の人に誘われたのがきっかけです。知らない土地で、声をかけてもらって嬉しかったのを覚えています。生協暦は22年。商品を利用するだけでなく、理事という役割も経験でき、今までにない自分を発見できました。

子どもが生まれたのをきっかけに、加入しました。お気に入りの商品はミルクプリン。自分の母親世代から若い人まで、幅広い年代層の人と関わることができ、いろんな情報を得られます。

生協の魅力はなんでしょうか

くらしの中で関心を持ったこと、考えていることを発言する場がたくさんあるところかな。

今年の総代会でも、「食の安全」や「原発問題」など組合員さんから積極的な発言がありました。

総代さんからも、大きな拍手がありましたね。ご近所だけではなく、もっと広い世界で共感してくれる人がいるというのは励みになります。

そうですね。「食の安全」についての発言はその後、講演会や学習会につながりました。

一人ではできないことも、いっしょに挑戦、実現できる仲間ができるのも生協ならではです。

意見を述べ、その声が反映される、そんなチャンスが、みんな平等にあるってすごいことです。

食の安全についてはどうお考えですか

20年以上前は、遺伝子組み換えや合成甘味料など食品の勉強会が多かったですね。時代の移り変わりとともに、少しずつ食の安全レベルは上がってきましたが、生協が果たしてきた役割は大きいと思います。

とはいえ、いまだに食品に関する事件は起こっています。世の中に絶対安心はありえないと思いました。その際、どう対応するかも大事ですよね。

若い組合員さんから、「生協の商品は高いイメージがある」という意見がありました。そういった声を受け、利用しやすい商品も徐々に増えてきました。

世代によって家族構成が変わり、必要な商品も変わっていきます。幅広い品揃えでもっと選択肢を増やせるようにしたいですね。

きちんと納得して選んでいただけるように、常に情報を発信していくことも必要です。

私の生協活動は、お隣さんの「これ、おいしいよ！」の一言から始まりました。組合員さんが、生協のよさを周りに伝えることで、つながりが広がればと思います。

「くらしをよくしたい」という気持ちを、ぜひ生協の場で実現してほしいです。

私も主婦であり、母であり、一人の女性です。いっしょに考え、組合員さんにもどんどん力を発揮していただき、「生協っていいね！」を広めていけたらと思います。コープぎふの主人公は組合員ですからね。

聞き手：岐阜新聞箕浦田美子氏

林 智子　理事

生協の魅力は「食」だけでなく、「くらし」全体に広がっていると思います。組合員さんが社会の中で力を発揮することや、つながりも求められています。

安心安全が当たり前になっている中、生協らしさってなんでしょう？

生協では、組合員さんに正しい情報を伝えることが重要だと考えています。その誠実さも評価されています。

あとは私たち消費者が、自分で判断・選択できるようなサポートが必要ですね。

例えば、ハムのパッケージがはがしにくいという声に対して、はがしやすい加工が施されたり、パスタの袋がチャックシールになったり。「もっとこうだったらいいのに」という声が出せて、それが返ってくるのはうれしいですよね。

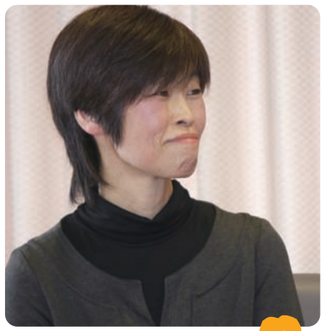
商品は買って終わりでなく、使って初めて価値が出るんですよね。使ってどうだったかという声はとても大切。案外、ほかの人も同じように思っているものですから。一人の声で、大勢の人のくらしがよくなるというのも魅力です。

「食」と同時に、地域のくらしをよくするお手伝いも求められています。人口が減少する社会で、いかに人がつながり、助け合うかが課題です。配達職員による見守りも心強いですね。

だれもが参加できる生協であるためにできることは何でしょう

毎週の配達で「調子はどうですか？」なんて、小さな気遣いがうれしいです。生協とともに、地域が元気になれる取り組みが増えるといいですね。事業では福祉や夕食宅配、住宅や共済など、トータルで暮らしをサポートできるのも生協の強みです。

岐阜県での生協加入率は3割くらい。もっと若い人にも入ってもらいたいです。



山村 まさこ　理事